

経尿道的膀胱結石碎石術(TUL)に関する 説明文書・同意書

大曲厚生医療センター 泌尿器科

【手術と術後経過について】

- ☐ 全身麻酔、もしくは腰椎麻酔で手術を行います。
- ☐ 尿道から専用内視鏡をいれて結石を破碎します。
- ☐ 手術時間は30～60分程度です（石の大きさ、数、部位により異なります）。
- ☐ 手術当日から点滴を開始します。飲水と食事が十分にできると主治医が判断できた時点で終了となります（多くの場合1～2日です）。術後感染予防のため、手術当日に抗生剤の点滴を行います。発熱など尿路感染症が疑われる際には、抗生剤の点滴や内服を続ける場合があります。
- ☐ 手術終了後は尿道カテーテル（尿を出す管）を入れたまま帰ってきます。カテーテルは、血尿の程度をみて翌日以降に抜去します。
- ☐ 食事は多くの場合は翌朝になります。
- ☐ 手術翌日より歩行可能です。

【手術の合併症】

- ☐ 出血：血尿はほぼすべての方にみられます。程度が強い場合は、輸血や追加の処置が必要になることがあります。極めて稀です。
- ☐ 膀胱損傷：内視鏡操作や結石破碎時に膀胱に傷がつくことがあります。このような場合、術後の尿道カテーテルを長期間（数日～7日程度）留置します。損傷が大きい場合は開腹手術を行うことがあります。極めて稀です。
- ☐ 術後、尿路感染症により発熱、背部痛、排尿痛、陰嚢内容の疼痛などが生じることがあります。
- ☐ 下腹部不快感：術後、尿道にカテーテルが入っているため、多くの方に違和感や不快感がみられますが、抜去後はすみやかに改善します。
- ☐ 機械の故障：手術中に機械が故障し、手術を中断せざるを得ない場合があります。その場合は、日を改めて手術を行います。
- ☐ その他：手術時、術後に予期せぬ合併症（肺梗塞、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血など）が生じる可能性があります（このような合併症は極めて稀ですが生命に関わる場合があります）。

【治療成績】

内視鏡による膀胱結石破碎は、結石の状態（結石の硬さ、大きさなど）によって手術成績が変わります。一度ですべてを碎石できる場合が多いですが、一部結石が残る場合もあります。

私は 年 月 日に予定されている経尿道的膀胱結石破碎術（TUL）について、下記の医師により説明を受け理解しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

患者氏名 (自署) (印)

代理人 (自署) (印) (続柄)

説明者

大曲厚生医療センター 泌尿器科 医師署名

立会人署名